2024年3月8日 第11回流砂・河床変動に関する若手勉強会

Interface-Resolved Simulation を活用した土砂流の力学機構の分析





発表内容



1. シミュレーションモデルの特徴と解析法 2. 一様流中の球に作用する流体力の解析

- 3. 等流状態の平衡土砂濃度の解析
- 4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い
- 5. 現地土石流を対象としたシミュレーション

6. まとめ

連続体近似の混相流モデルや粒子法とのAPMの関係について



固体と流体の連成解析の種類 (解像度について)



流体解析の計算格子

粒子に作用する流体力は,抗力係数 などを用いたモデル化によって推定

粒子群に作用する抗力係数を適切に 与えることが困難



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus



流体解析の計算格子

粒子周りの流れを詳細に解き, 抗力 係数を用いることなく, 解かれた粒子 周りの流れの応力場から, 流体力を 直接求めることができる.

APM (Arbitrary Particle Multiphase)

固液混相流モデルの解析法





接触力の計算方法

δ



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

バネ ダッシュポット $F'_i = e_i + d_i$

二球の重なり量 δ とおよぼし合う力の関係を弾 性論から求めたHertzの式でバネ定数を設定

$$e_{i}(t + \Delta t) = e_{i}(t) + k_{i}\Delta\delta_{i}$$

$$k_{n} = \left\{ \frac{4}{9} \left(\frac{r_{1}r_{2}}{r_{1} + r_{2}} \right) \left(\frac{E}{1 - pos^{2}} \right)^{2} e_{n} \right\}^{\frac{1}{3}}$$

非弾性衝突に伴うエネルギー散逸を ダッシュポットでモデル化

$$d_i = c_i \frac{\Delta \delta_i}{\Delta t}$$

$$c_n = -\frac{2\ln b}{\sqrt{\pi + (\ln b)^2}} \sqrt{\frac{m_1 m_2}{m_1 + m_2}} k_m$$

川口寿裕,田中敏嗣,辻裕:日本機械学会論文集, Vol.58, No.551B, pp.79-85,1992.

摩擦スライダー(接触平面の方向)
$$F_t = \operatorname{Sign}\{F_t'\}\min\{|F_t'|, an arphi_p|F_n$$



- : 接触開始からの変位
- : 衝突平面の法線方向 n と 2つの接線方向(t 方向)の 成分を示す
- r :球の半径
- *k* : バネ定数
- F : 弹性係数
- pos :ポアソン比
 - m:球の質量
- b : 反発係数(ダッシュポット)
- $arphi_p:$ 粒子間摩擦角 (摩擦スライダー)



発表内容



1. シミュレーションモデルの特徴と解析法

- 2. 一様流中の球に作用する流体力の解析
- 3. 等流状態の平衡土砂濃度の解析
- 4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い
- 5. 現地土石流を対象としたシミュレーション

6. まとめ

抗力係数の検証



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

粒径の1/4程度の格子を用いることで,球に作用する抗力を適切に説明できることが 確認できた.



Tomoo Fukuda, Shoji Fukuoka : Interface-resolved large eddy simulations of hyperconcentrated flows using spheres and gravel particles, Advances in Water Resources, 2017.

発表内容



シミュレーションモデルの特徴と解析法
 一様流中の球に作用する流体力の解析
 等流状態の平衡土砂濃度の解析

4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い
5. 現地土石流を対象としたシミュレーション
6. まとめ



平衡土砂濃度の検討ケース2)

土砂流の濃度は水路勾配によって変化⇒勾配の異なる3ケースについて考察

2.18 mm
38.7 deg
$2,620 \text{ kg/m}^3$
0.000545 m
0.1m
0.1m
縦断方向

長径: $a \quad a/d = 1.49$ 中径: $b \quad b/d = 1.00$ 短径: $c \quad c/d = 0.72$ Shape Factor $c/\sqrt{ab} = 0.590$



図 解析に用いた石のモデル

各ケースで異なる解析条件

実	水路勾配 θ	6.4deg	10.5deg	14.4deg
験	流動層の水深 h_t	0.0188m	0.0193m	0.0284m
佢	¹⁾ 輸送濃度c _f	0.0423	0.140	0.33
解条 析件	初期粒子 投入量 <i>V</i> 。	5.61 × 10 ^{- 5} m ³	$7.64 \times 10^{-5} \mathrm{m}^3$	$1.66 \times 10^{-4} \mathrm{m}^3$

輸送濃度 $c_f = \int_0^{h_t} cudz / \int_0^{h_t} udz$ 初期粒子 $V_s = (0.5 c_* h_t + c_f h_t) a$ c :混相流の粒子の体積濃度 u :混相流の流速 a :水路底面の面積 c_* :静止堆積層の濃度(0.512¹⁾)

11

1) 伊藤隆郭: 土石流の構成則およびその適用に関する研究, 立命館大学博士論文, 2000

2) 山口栄治, 福田朝生, 岩切航: 固体群と流体の三次元連成数値シミュレーションを用いた単一粒径粒子群の土砂流の乱れ構造に関する研究 土木学会論文集*B1(*水工学), Vol.78, pp.I_895-I_900, No.2, 2022.11 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.78.2_I_895





01.500s



山口栄治, 福田朝生, 岩切航 : 固体群と流体の三次元連成数値シミュレーションを用いた単一粒径粒子群の土砂流の乱れ構造に関する研究 土木学会論文集*B1(*水工学), Vol.78, pp.I_895-I_900, No.2, 2022.11 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.78.2_I_895

10.5 deg



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus



山口栄治, 福田朝生, 岩切航: 固体群と流体の三次元連成数値シミュレーションを用いた単一粒径粒子群の土砂流の乱れ構造に関する研究 土木学会論文集*B1(*水工学), Vol.78, pp.I_895-I_900, No.2, 2022.11 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.78.2_I_895



山口栄治, 福田朝生, 岩切航: 固体群と流体の三次元連成数値シミュレーションを用いた単一粒径粒子群の土砂流の乱れ構造に関する研究 土木学会論文集*B1(*水工学), Vol.78, pp.I_895-I_900, No.2, 2022.11 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.78.2_I_895 流速分布の比較



解析の混相流の流速と実験結果1)の粒子速度との比較



平衡土砂濃度の確認

解析で求めた平衡濃度



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus



平衡土砂濃度式

$$\bar{c} = \frac{\tan \theta}{\left(\frac{\rho^{p}}{\rho^{w}} - 1\right)(\tan \varphi - \tan \theta)}$$

ρ_w :水の密度, *ρ_s* :粒子の密度,
 θ : 水路勾配,
 φ : 粒子群の内部摩擦角(38.7 deg) ,
 c̄ : 水深平均の粒子の体積濃度

表 平衡濃度の解析結果と 平衡濃度式から求める計算値の比較

$\theta(\text{deg})$	6.4	10.5	14.4
$h_t(m)$	0.017	0.017	0.026
平衡濃度 (解析)	0.084	0.18	0.33
平衡濃度 (式)	0.10	0.19	0.29

 $\bar{c} = \frac{1}{h_t} \int_0^{n_t} c \, dz$ h_t :流動層の水深, c:粒子の体積濃度 ※底面高は最大流速の1%の速度となる高さで定義



1) 伊藤隆郭: 土石流の構成則およびその適用に関する研究, 立命館大学博士論文, 2000

2) 山口栄治, 福田朝生, 岩切航: 固体群と流体の三次元連成数値シミュレーションを用いた単一粒径粒子群の土砂流の乱れ構造に関する研究 土木学会論文集*B1(*水工学), Vol.78, pp.I_895-I_900, No.2, 2022.11 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.78.2_I_895

16



- ▶ 等流状態の土砂を解析した結果,流速分布をかなりの程度説明できた.
- ▶ 平衡土砂濃度式の関係も良好に再現することができAPMの水と土砂の 相互作用は概ね妥当と判断される.

発表内容



1. シミュレーションモデルの特徴と解析法 2. 一様流中の球に作用する流体力の解析 3. 等流状態の平衡土砂濃度の解析 4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い 5. 現地土石流を対象としたシミュレーション 6. まとめ

土石流水路実験を対象とした解析の解析条件 Mydraulics, Coastal and Environmental Engineering La



球を用いた土砂輸送濃度 $C_f = 0.196$ の解析結果



礫を用いた土砂輸送濃度 $C_f = 0.196$ の解析結果



Fukuda,T., Fukuoka,S.: Interface-resolved large eddy simulations of hyperconcentrated flows using spheres and gravel particles , Advances in Water Resources 2017. https://doi.org/10.1016/j.advwatres.2017.10.037



Fukuda, T., Fukuoka, S.: Interface-resolved large eddy simulations of hyperconcentrated flows using spheres and gravel particles , Advances in Water Resources 2017. https://doi.org/10.1016/j.advwatres.2017.10.037

礫を用いた土砂輸送濃度 $C_f = 0.444$ の解析結果



粒子と水の速度と体積濃度の鉛直分布²⁾ Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

粒子形状を調整することで, 高濃度の土砂流を概ね説明できることが確認された.



球を用い反発係数および摩擦角を変更した解析結果2)



1) 伊藤隆郭, 江頭進治, 宮本邦明, 竹内宏隆: 土石流の固定床から移動床流れへの遷移過程に関する研究, 水工学論文集, 第43巻, 1999年 2)Fukuda,T., Fukuoka,S.: Interface-resolved large eddy simulations of hyperconcentrated flows using spheres and gravel particles, Advances in Water Resources 2017.

二相流の式と解析結果から求める流体力

二相流モデル $\alpha_w + \alpha_g = 1$

α:体積割合

水相

$$\frac{\partial \alpha^{w}}{\partial t} + \frac{\partial \alpha^{w} u_{i}^{w}}{\partial x_{i}} = 0$$

$$\frac{\partial \rho^{w} \alpha^{w} u_{i}^{w}}{\partial t} + \frac{\partial \rho^{w} \alpha^{w} u_{i}^{w} u_{j}^{w}}{\partial x_{j}} = \rho^{w} \alpha^{w} g_{i} + \frac{\partial \sigma_{ij}^{w}}{\partial x_{j}} + f_{i}^{w}$$

粒子相

 $\frac{\partial \alpha^{\mathrm{p}}}{\partial t} + \frac{\partial \alpha^{\mathrm{p}} u_{i}^{\mathrm{p}}}{\partial x_{i}} = 0$

$$\frac{\partial \rho^{\mathbf{p}} \alpha^{\mathbf{p}} u_{i}^{\mathbf{p}}}{\partial t} + \frac{\partial \rho^{\mathbf{p}} \alpha^{\mathbf{p}} u_{i}^{\mathbf{p}} u_{j}^{\mathbf{p}}}{\partial x_{j}} = \rho^{\mathbf{p}} \alpha^{\mathbf{p}} g_{i} + \frac{\partial \sigma_{ij}^{\mathbf{p}}}{\partial x_{j}} + f_{i}^{\mathbf{p}}$$

相互作用力(流体力)

$$f_i^{\rm p} = -f_i^{\rm w}$$



26

二相流の構成則と応力の鉛直分布の求め方

β

二相流モデル

$$\begin{split} \frac{\partial \alpha^{\beta}}{\partial t} + \frac{\partial \alpha^{\beta} u_{i}^{\beta}}{\partial x_{i}} &= 0\\ \frac{\partial \rho^{\beta} \alpha^{\beta} u_{i}^{\beta}}{\partial t} + \frac{\partial \rho^{\beta} \alpha^{\beta} u_{i}^{\beta} u_{j}^{\beta}}{\partial x_{j}} &= \rho^{\beta} \alpha^{\beta} g_{i} + \frac{\partial \sigma_{ij}^{\beta}}{\partial x_{j}} + f_{i}\\ &: \text{相互作用力(流体力)}\\ f_{i}^{\text{p}} &= -f_{i}^{\text{w}} \end{split}$$

$$\sigma_{33}^{\beta} = \int_{x_3}^{x_3^{\beta}} \left(\rho^{\beta} \alpha^{\beta} g_3 + f_3^{\beta} \right) dx_3$$

$$\sigma_{31}^{\beta} = \int_{x_3}^{x_3^{\beta}} \left(\rho^{\beta} \alpha^{\beta} g_1 + f_1^{\beta} \right) dx_3$$

 β :水相w 粒子相p

m:混相流



応力の鉛直分布





粒子の直応力とせん断応力の比率の鉛直分布(粒子内部の摩擦角)



 ● 見かけの摩擦角は c_f=0.444 のケースよりも c_f= 0.196 のケー スの方が大きくなっており,見かけの摩擦角は,水と粒子の運動 の影響を受ける.

● 球と礫形状の見かけの摩擦角は10°ほど異なっている.



29

流体力の鉛直分布





粒子に作用する水のせん断応力の模式図

粒子と同一領域内の水塊が、 水のせん断力から受ける力 せん断応力差による流体力 一般的な浮力 $f_x^{b} = \alpha^{p} \frac{\partial \sigma_{31}^{w}}{\partial x_3}$ $f_x^{b} = \alpha^{p} \frac{\partial \sigma_{33}^{w}}{\partial x_3}$

lpha:体積割合

Fukuda, T., Fukuoka, S.: Interface-resolved large eddy simulations of hyperconcentrated flows using spheres and gravel particles, Advances in Water Resources 2017.

エネルギー減衰







- ▶ 体積濃度が大きくなると(40%ほど),球と礫形状の粒子の運動の違いが顕著に表れる.
- ▶ 反発係数や、粒子表面の摩擦角を変化させても、球では、礫の運動を 説明できない。
- ▶ 体積濃度が小さいと(20%ほど),粒子に作用する流下方向の流体力は,その場の同体積の水粒子が受ける力と同様になる.

発表内容



シミュレーションモデルの特徴と解析法
 一様流中の球に作用する流体力の解析
 等流状態の平衡土砂濃度の解析

4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い
5. 現地土石流を対象としたシミュレーション
6. まとめ

平成26年8月 307渓流で発生した土石流による被災状況



写真出典:国土交通省太田川河川事務所

広島県広島市安佐南区八木四丁目 死者 10名 出典:平成26年発生8.20土砂災害広島県土木局砂防課



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

34





砂防堰堤の粘り強さを発揮させるためには、越流時に対する耐性が必要であるが、従 来の砂防堰堤の設計では、越流時の外力を十分想定したものとなっていない.



2014年広島豪雨災害において土石流が発生した渓流の状況と被害に関する調査, 地盤工学ジャーナル, Vol.11, No.1, 33-52

15.00m

1999年7月3日 長野県・焼岳上久堀沢で発生した土石流の動画



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

土石流 長野県・焼岳上々堀沢 1999.7.3

撮影 国土交通省 松本砂防事務所 提供 国土交通省 砂防部





従来の堤軸上に鋼製フレームが並ぶ形式(**直線フレーム**)の透過型砂防堰堤で は,透過部が容易に閉塞し,透過にしたことによる堰堤上流の水位低下効果は限 定的であり,すぐに不透過型と同様な状態になる.



透過型砂防堰堤による流木の捕捉状況(熊本県小国町) 出典:今後の流木対策の進め方 国土交通省HP (H29)







凸フレームのねらい

土砂流を積極的に排出し,流出 時に被害を増大させる,巨石や 流木の捕捉量を増加させる.

本研究

変形・破壊を説明できる流木のモデルを開発し, APMに導入することで土砂と 流木,水流および鋼製フレームの相互作用を,現地の土石流を対象に考察するこ とができる新しい数値解析技術を開発する.

開発した数値解析技術を用いて,提案する凸フレームの砂防堰堤の土砂と流 木の捕捉効果を確認する.

粒子内部の破壊状態を考慮した木の接触力のモデルの

Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus



構築した木のモデルを用いた曲げ試験の解析



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lab University of the Ryukyus

曲げ試験結果出典:浅葉将之,西村尚,圧縮木材の曲 げ強度に及ぼす加工条件の影響, 日本機械学会論文集(A編),67巻,654号,2001.



Table1 Condition of 3-point bending test







福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 4〇 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177

水,礫石礫,流木,気相の4相の混相現象のシミュレーション 比重0.8の木のモデルを用い解析し,解析結果では木の2割程度が水面上に存在 していることから,木に作用する流体力は概ね説明できていると考えられる.



福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_11824 No 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177

検討ケースと解析条件





不透過 (再現計算)

堤軸上のコンクリートや鋼製フレームの天端高はすべてのケース統一

凸フレーム 諸元

- 凸部の縦断長さ:15m
- 凸部の幅 : 2m

流体計算格子数 約2.5億

解析条件

- ◆ 堰堤上流200mを解析
- ◆ 上流端流入条件は2Dの土石流計算 結果より設定
- ◆ 粒径0.4~1.2mの5粒径
- ◆ 格子サイズ0.1m/
- ◆ 流体の密度は1,600kg/m³

福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, <mark>42</mark> 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177

土石流前の地形に一致するように初期堆積土砂を設定



0010.00s 再現計算結果

流木が先端に集積して流下しており ,現地土石流で見られる流木の分級 の様子を良く説明している.





Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lal University of the Ryukyus

福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177

直線フレームの解析結果 0020.00s

黄色:1.2m 黄緑:0.8m 水色:0.6m 赤色:0.5m 青色:0.4m



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering La University of the Ryukyus

福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 2020 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_1_1177

ひつレームの解析結果 0020.05s

黄色:1.2m 黄緑:0.8m 水色:0.6m 赤色:0.5m 青色:0.4m



Hydraulics, Coastal and Environmental Engineering Lal University of the Ryukyus

福田朝生,福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討,土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 2020 DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_1_1177

各ケースの土砂と流木の捕捉量の比較





	不透過 A	直線フレーム B	凸フレーム C
堆砂容量	3,260 m ³	3,033 m ³	4,284 m ³
差分		B-A - 227 m ³	C-A 1,024 m ³
		(B-A)/A -7%	(C-A)/A +31%
流木捕捉量	9.3 m ³	9.3 m ³	13.1 m ³
差分		B-A 0 m ³	C-A 3.8 m ³
		(B-A)/A 0%	(C-A)/A +41%

福田朝生, 福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 47 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177

鉛直平面内の主流速コンター図(t = 50 s)







福田朝生,福岡捷二: 凸型の鋼製フレームを持つ砂防堰堤による流木を含む高精度数値解析法を用いた土石流捕捉効果の検討,土木学会論文集B1(水工学), Vol.76, pp.I_1177-I_1182, No.2, 2020. DOI:https://doi.org/10.2208/jscejhe.76.2_I_1177
48

鋼製フレーム形状の検討のまとめ



- ▶ 石礫と、変形・破壊する流木、および水の三相の三次元運動を推定し さらに実際の渓流の土石流を対象として鋼製フレームの効果を考察す ることができる新しい数値解析技術を開発した.
- ▶ 今回の検討では、凸フレームは直線フレームに対して、堆砂量が30% も多く、凸フレームは土石流の捕捉に関して有効な構造であると判断 される.
- 構築した木のモデルは、実際の木の曲げ試験の変形破壊特性を良く説明きており、鋼製フレームとの相互作用を考察する上で、有効な木のモデルといえる.

発表内容



1. シミュレーションモデルの特徴と解析法

- 2. 一様流中の球に作用する流体力の解析
- 3. 等流状態の平衡土砂濃度の解析
- 4. 球と礫形状粒子の運動と力の状態の違い
- 5. 現地土石流を対象としたシミュレーション

6. まとめ

まとめ



■ APMによるIRLESは,土砂流の運動をかなり説明することが確認できた.

□ 土砂流の力学機構の分析においてAPMの活 用は有効な手段である.